

科目名	小児看護学特別研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (小児看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 石館美弥子 准教授 三木祐子						
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	小児看護学領域において探求すべき研究課題を見だし、研究テーマに沿って一連の研究プロセスを踏む。学術的意義のある修士論文を作成する過程において必要となる基礎的な研究能力を修得する。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児看護領域から選択した研究テーマに基づき、研究計画書を作成できる。</li> <li>2. 研究を実施するために必要な倫理審査申請書類を作成できる。</li> <li>3. 研究目的に適したデータ収集と分析・考察ができる。</li> <li>4. 修士論文を執筆し成果を公表できる。</li> </ol>						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【行動目標】 研究テーマに基づき研究計画書を作成し、データ収集・分析を行い、論文を作成する過程を通して基礎的な研究能力を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画書の作成</li> <li>・倫理審査申請書類の作成</li> <li>・データ収集と分析</li> <li>・結果に基づいた考察</li> <li>・中間報告</li> <li>・論文作成と公表</li> </ul> <p>【研究テーマ】</p> <p>(石館美弥子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの受診行動を支援するオノマトペの研究</li> <li>・プレバレーションに関する研究</li> <li>・子どもの傷害予防に関する研究</li> </ul> <p>(三木祐子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健学に関する研究(主に親子の健康と環境に関する研究)</li> <li>・発達障害の子どもに関する研究</li> </ul>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	研究プロセスにおける自己の課題について事前準備を十分に行う。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておく。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予習・復習が必要である。					
教科書	必要時適宜提示する。						
参考書	必要時適宜提示する。						
成績評価の方法および基準	研究計画書 30%、中間発表20%、口頭試問 50%						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 課題レポートなどに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						